

芳野よしのに遊あそぶ（頼らい 杏坪きょうへい）

万人ばんじん酔すいを 買こうて 芳叢ほうそうを 攪みたす

感慨かんがい 誰たれか 能よく 我われと 同おなじき

恨殺こんさいす 残紅ざんこうの 飛とんで 北きたに 向むかうを（向むこうを）

延元えんげん 陵上りょうじょう 落花らっかの 風かぜ

『解説』 西南の役に敗れたとき、戦争の激しさと無残な敗北の心境を詠じたもの。

『語釈』 ※戦袍 || 軍服。 ※撲 || たたく。 たたきつけるように降る。 ※沙 || まさぐし。

家 || 二、三軒の家。 ※江山 || 山と川。 * 両三細かい石。 ※壮図 || 壮大な

と。 ※窮り無き || 果てしない。 企て。 ※一蹶 || ひとたびつまづくこと。

と。 ※断橋 || 断ち切れた橋 限りない。 ※恨み || 残念に思うこと。